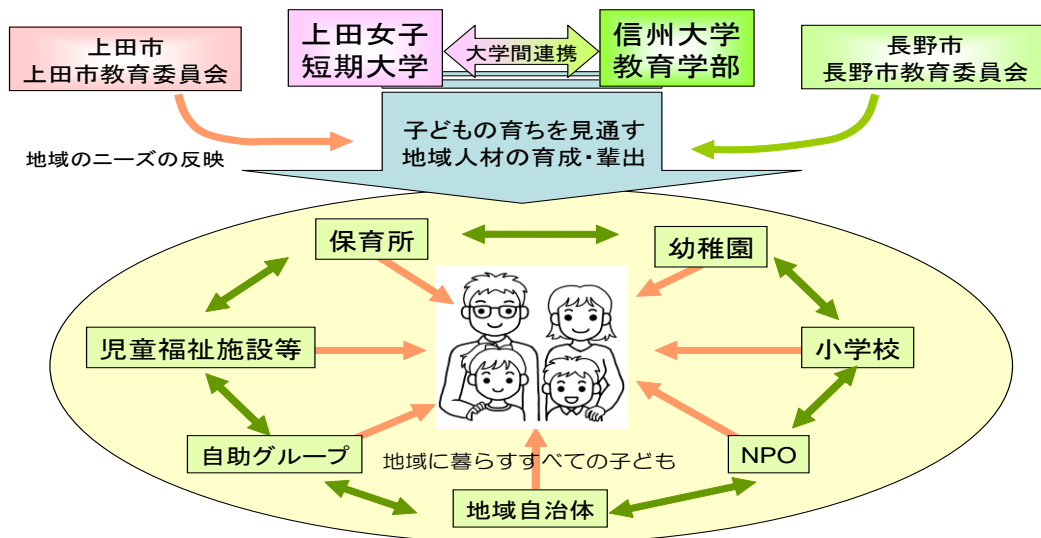


上田女子短期大学・信州大学 大学間連携事業

1. 大学間連携事業の趣旨・目的

幼稚園教員及び保育士養成校である上田女子短期大学幼児教育学科と、小学校の教員養成課程を有する信州大学教育学部は、ともに地域の保育・教育を担う専門職養成大学として人材育成プログラム開発のための協定を結んでいます。この協定により、幼稚園・保育所から小学校までの子どもの育ちを見通すことのできる保育者と小学校教員を育成することを目的として、本連携事業に取り組んでいます。

大学間連携による地域人材の育成



2. 連携事業の内容

(1) 本学と信州大学とをつなぐ遠隔授業聴講システムを導入

本学と信州大学教育学部では、それぞれのキャンパス（教室）から互いの授業を聴講できる遠隔授業聴講システム（テレビ会議システム）を導入し、単位互換制度を取り入れています。そのため、信州大学教育学部の授業を本学にいながらにして聴講できます。逆に、信州大学の学生が信州大学にいながら本学の授業を聴講することもできます。



さらに、信州大学教育学部との相互乗り入れ授業も開講しています。本学と信州大学の教員が連携し進めていく授業を、それぞれの学生がテレビ越しに聴講し、同じ課題について意見交換をしたり、作成したプロダクトを発表し合ったりします。

遠隔授業聴講システムを導入することで、本学と信州大学の学生がお互いの専門性を生かしあえる授業を展開することが可能となります。

(2) 信州大学教育学部の公開講座「幼児キャンプ教室」へのスタッフとしての参加

信州大学教育学部の公開講座である「幼児キャンプ」に、本学学生の希望者はスタッフとして参加できます。「幼児キャンプ」とは、年長児と信州大学教育学部の学生と本学学生が、戸隠キャンプ場で、「自然の中にどっぷりつかって、仲間とともにたっぷり遊ぶ」をテーマに、自然体験活動やキャンプでの共同生活を行うものです。本学学生は子どもたちと思い切り遊ぶことはもちろん、食事を作ったり、子どもたちの写真を撮ったり、絵本の読み聞かせをしたりします。信州大学の学生や子どものたくましい姿を通じて、キャンプや自然体験活動の技法、子どもへの関わり方を学ぶ機会となります。



(3) 合同学習会の開催

毎年、連携事業の一環として、保育・教育現場における現代的課題への対応事例の合同学習会を開いています。

2021年度は、認定こども園野あそび保育みっけの園長であり、飯綱高原ネイチャーセンター&冒険あそびの森代表でもある内田幸一先生を講師にお迎えし、ご講演いただきました。

本学の教員と学生、信州大学の教員と大学院生、保育者や地域の方々が共に、子どもが自然と出会っていく中で起こる内面の動きや出来事・育ちを捉え、共に学び合える保育者・教師のあり方について考え合いました。

**自然保育と
保育者/教師の学び**

上田女子短期大学・信州大学 大学院連携事業
第14回合同学習会
2021年9月15日(水)15:00-16:30 オンライン(ZOOM開催)

講師の内田幸一先生は、自然のなかでの保育を30年以上おこなわれたいまは、信州大学での講演もたくさん。自然を共に楽しむ保育者・教師の学びや成長を考えます。自然保育、幼児教育、保育者、教員養成に関心のある方の参加をお待ちしています。

問合せ・事前申込先(申し込みいただいた方にZoomIDをお知らせします)
信州大学教育学部 大学院連携事業課 次室
Email: yuzawa_yako@qns.shinshu-u.ac.jp TEL: 028-238-4057